



うどんこ病こそ、  
先手必勝！  
作物にプラスの  
価値を。

**セレナーデ**  
水和剤



3つの作用で作物を守る

- ✦ 競合
- ✦ 抵抗性誘導
- ✦ 直接殺菌



イチゴ うどんこ病    トマト うどんこ病    キュウリ 灰色かび病    ナス 灰色かび病

® はハイエルグループの登録商標



## 特長

- ①複合的な作用（病原菌との「競合」・「抵抗性誘導」・「直接殺菌」）でうどんこ病、灰色かび病などの病害をしっかり予防。**
  - ・植物の病害抵抗性を誘導することが確認されています。
- ②防除体系に組み込むことで化学農薬の耐性菌管理に役立ちます。**
  - ・微生物農薬である本剤は、使用回数に制限がなく、耐性菌発生のリスクも減らせます。
  - ・化学農薬の代替・補完として生育初期から7～10日間隔で防除体系に組み込むことにより、効果的な防除体系の持続性を高めることが可能となります。
- ③有用昆虫や環境に対し高い安全性を有し、使用しやすい製品です。**
  - ・有効期限4年、常温保存可能と高い製剤安定性を有します。
  - ・新JAS法の有機農産物の生産に使用できます。
  - \*:改正JAS法において、「有機農産物」とは「化学的に合成された肥料及び農薬の使用」を避けたものを基本とする、と定義されています。

## 適用病害および使用方法（2016年6月現在の登録）

作物名	適用病害	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	使用回数		使用方法				
					本剤	パチルスズチリス					
野菜類 豆類（種実） いも類	うどんこ病 灰色かび病	500	3.2ℓ/10a	発病前 ～ 発病初期 まで	—	—	散布（上澄液）				
		500～1,000					散布				
トマト ミニトマト	葉かび病	500					—	—	—	散布	
ししとう	黒枯病										
食用ゆり	葉枯病										
にら	白斑葉枯病										
からしな （種子）	うどんこ病 灰色かび病	500～1,000					—	—	—	散布（上澄液）	
かぼちゃ	うどんこ病	16								散布	
ホップ	灰色かび病	1,000					—	—	—	—	無人ヘリコプターによる散布
ぶどう ハスカップ		500～1,000									
もも ネクタリン	灰星病	500	—	—	—	—					散布
おうとう すもも											
ブルーベリー	斑点病	2,000	—	—	—	—					散布（上澄液）
いちご	うどんこ病										散布

## 注意事項



### 使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌ですので、散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使いきって下さい。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、良くかきまぜてから散布して下さい。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがありますので、貯蔵に当っては湿気に注意し、とくに使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵して下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合がありますので、注意して下さい。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、発病前から発病初期に7～10日間隔で散布して下さい。
- 本剤を使用する場合、低温下（約10℃以下）では有効成分の活動が低下し効果が劣るので、低温が予想される場合には使用を避けて下さい。
- 収穫期間近の散布、とくにおうとうでは着色期以降の散布では果実に汚れを生じるおそれがありますので注意して下さい。
- ブルーベリーの着色期以降の散布では、果実の汚れあるいは果粉の溶脱するおそれがありますので、使用を避けて下さい。
- おうとうの着色期以降の散布では果実に汚れを生じるおそれがありますので、上澄液を散布して下さい。
- すももの散布時の汚れは上澄液を散布すれば軽減されますが、着色期以降の散布では果粉が溶脱するおそれがありますので使用を避けて下さい。
- 上澄液の調製方法は、先ず所定の散布液濃度より10倍濃い薬液を調製し、よく攪拌して下さい。これを3～5分間程度静置後、底に溜まった沈殿物が入らないように注意しながら上澄液を採取します。採取した上澄液を10倍に希釈して散布液として下さい。

- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。

- 散布は散布機種別の散布基準に従って実施して下さい。
- 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
- 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他の散布装置の十分な点検を行って下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### 安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼-うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00  
土・日・祝日を除く

第1版 (F-2114 16.06.JWT)